



日本税関労働組合
 東京都千代田区霞が関 3-1-1
 財務省内 西 151 号室
 TEL 03-3581-4111(代) 内線 2969
 (直通)03-3593-1790
 (FAX)03-3593-1788
 (E-mail)zeikan-roso@kfy.biglobe.ne.jp
 発行人 奥平 昌浩
 編集人 山口 剛聡

- 令和3年度定員純増までの取組み
- 要請行動にご対応いただいた国会議員の皆様
- 海事職専門委員会及び男女協働委員会を開催など

税関労組ニュース
 第 925 号
 令和 3 年 3 月 3 1 日

令和3年度定員純増までの取組み

令和3年1月7日、「令和3年度税関関係予算(案)」の概要が明らかにされ、税関の定員は増員342人、定員合理化計画△192人、差引純増150人(デジタル庁への振替人員含む)という発表がなされました。税関労組が当局に対して要求した増員は592人であり、決して満足のいく結果ではありません。しかし新型コロナウイルスの影響により例年にも増して非常に厳しい行財政事情の中職員が増員されたということは、各職場で懸命に業務に当たっている組合員の皆さまの努力の賜物であり、各地区本部及び中央本部が一体となって取組みを進めた成果です。

税関労組においては昨年3月の附帯決議の獲得から始まり、内閣人事局に対して定員確保に関する要請書の提出及び交渉の実施、関税局長交渉、議員要請行動などを通じ、職務の重要性・困難性及び職責の重さ、激増する訪日客や金地金密輸への対応など、現場で働く組合員の皆さまの労苦や声を届けるべく活動を繰り広げてきました。

議員要請行動にあつては、以前から説明させていただいている議員からは「税関さん大変ですよ」という言葉をいただき、「税関の重要性や必要性」により深い同意を示していただいております。これまで実施してきた議員要請行動の結果、税関への理解が深まってきていることを実感しております。

本号においては、定員純増までの簡単な流れ、要請行動にご協力いただいた国会議員の先生方をご紹介します。

これからも現場で働く皆さまへの声を国政の場及び当局に届けるべく、精力的に活動を繰り広げてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

R2.3

・ 附帯決議獲得 (税関労組)

衆議院財務金融委員会 9 年連続 36 回目、参議院財政金融委員会 10 年連続 39 回目

R2.4

・ 内閣人事局に対し、定員確保に関する要請書手交 (20 日) (税関労組)

R2.5

・ 令和3年度概算要求にかかる要求書提出 (20 日) (税関労組)

R2.6

・ 職場諸要求に関する要求書提出 (8 日) (税関労組)

新型コロナウイルスの影響の中第 60 期第 2 回関税局長交渉に代わる要求書提出を実施

R2.9

・ 第 61 回税関労組定期大会 (19 日)

R2.10

・ 定員査定時期にかかる国会議員要請行動開始 (税関労組)

・ 内閣人事局に対し定員確保に関する要請書手交 (12 日) (税関労組)



R2.11

・ 第 61 期第 1 回関税局長交渉実施 (27 日) (関税局)

田島関税局長から定員確保に向けて最大限努力してまいりたいとの回答

R3.1

・ 令和3年度税関関係予算(案)が発表となり、**税関の令和3年度定員は150名の純増が認められ、過去最多の9,971名となる**(7日)(政府・内閣)



～定員要請行動にご対応いただいた国会議員の皆様～



小沢議員



古賀議員



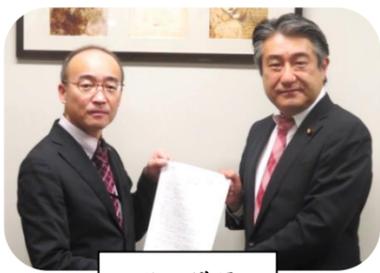
末松議員

立憲民主党



逢坂議員

- 立憲民主党
- 【順不同】
 逢坂 誠二、小沢 雅仁、海江田 万里、勝部 賢志、古賀 之志、桜井 周、階 猛、末松 正義、那谷 正規、難波 奨二、野田 佳彦、長谷川 嘉一、原 一博、牧山 ひろえ、水岡 俊一



石田議員



御法川議員



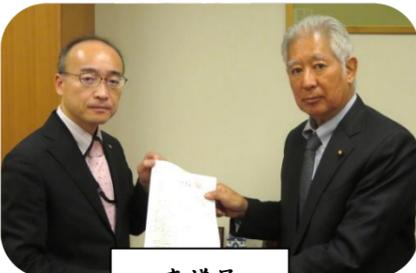
金田議員



田中議員



神田議員



森議員

自由民主党



古川議員



岸本議員



大塚議員

- 国民民主党
- 【順不同】
 大塚 耕平、岸本 周平、古川 元久、前原 誠司

国民民主党



丸川議員

- 自由民主党
- 穴見 陽一、有村 治子、石田 昌宏、稲田 朋美、井上 貴博、井野 俊憲、今枝 宗一郎、うえの 賢一、大家 敏志、越智 隆雄、鬼木 誠、勝 孝明、門山 宏哲、金田 勝年、神田 憲次、城 実、斎藤 洋明、佐藤 秋明、鈴木 祐、武井 馨、田中 和徳、田中 良生
- 【順不同】
 田畑 裕明、津島 淳、中西 祐介、中山 展宏、西田 昌司、野上 浩太郎、馬場 成志、藤川 政人、藤丸 敏、古川 禎久、本島 太一郎、牧島 かれん、丸川 珠代、御法川 信英、宮沢 洋一、宮下 喜一郎、宮島 文、村井 英樹、元 太一、森 英介、山田 賢司



藤末議員

無所属



福島議員

社会民主党

- 無所属
 青山 雅幸、上田 清司、藤末 健三、古本 伸一郎、渡辺 喜美
- 【順不同】
 日本維新の会
 音喜多 誠一、串田 駿
- 社民党
 福島 みずほ



石井議員



伊佐議員

公明党



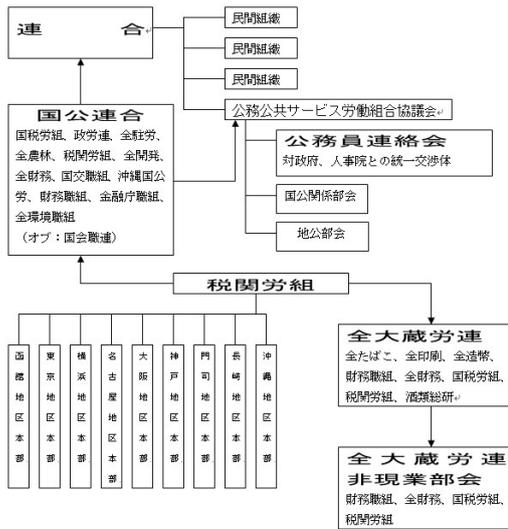
伊藤議員

- 公明党
- 秋野 公造、伊佐 啓一、石井 渉、伊藤 孝、太田 昌士、熊野 正夫、斉藤 鉄一、横山 信一



※所属政党は当時のもの

～ 上部団体と定員純増への取り組み～



税関労組が参画している上部団体での活動の一部を紹介いたします。最初に「国公連労働組合連合会」（以下「国公連合」）に参画しており、そもそも国公連合とは国の機関（府省庁及び出先機関）や独立行政法人、政府関係法人、在日米軍基地勤務の駐留軍労働者で組織する組合など、オプザーバー加盟組織を含め、13構成組織、約9万人で組織された公務職場で働く仲間が参加した労働組合で、良質な公共サービスを確立し、連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、すべての働く方々と連帯して行動しています。

国公連合を通じて参画している「公務公共サービス労働組合協議会」（以下「公務労協」）は公務員や独立行政法人および特殊法人等の職員（官公労働者、公務労働者などと呼ぶ）がつくる労働組合（官公労）から構成されており、公務員共サービスが国民生活の安心と安全を支える基盤であるという基本的認識のもと、第一にすべての公共サービス労働者の生活改善と格差是正をはかること、第二に良質な公共サービスの実現に向け、そのあり方を再構築すること、第三に公務員制度の抜本改革と公務における労使・労働関係の改革を推進すること、第四にこれらの取組を通じて組織の強化・拡大をはかることを柱に諸課題への対応を進めています。

上部団体である「国公連合」「公務労協」として人事院や内閣人事局等と交渉することが出来、税関労組単体として税関職員だけの声を伝えるより大きな声として、我々国家公務員全体の課題（給与関連やパワハラ対策制度等）解決を要求することが出来、更にその場で改めて税関労組固有の課題改善要求をすることが出来ています。

次に、「全大蔵労働組合連絡協議会」（以下「全大蔵労連」）は旧大蔵省関係機関から組織されており、それぞれの組織が所属する職場の処遇改善等の課題解決に向けて活動しており、全大蔵労連の一人として、財務大臣と直接交渉することが出来、我々税関労組の個別の課題解決に向けた要望も財務大臣に直接伝えることが出来ます。

神奈川県議会議員へ要請書提出

定員・級別定数等の増にかかる行動は、主に国会議員に対して行っておりますが、今般、新たな取り組みの第一歩として、横浜市会及び神奈川県議会に対して要請を実施しました。

令和2年10月21日、神奈川県議会議員へ要請書提出し、令和4年度の税関の定員・級別定数等の増に向けての活動を実施しました。

詳細は奥平中央執行委員長が執筆しました。税関労組HPのトピックスをご覧ください。



国松誠議員



川本学議員



田中徳一郎議員



杉本透議員

海事職専門委員会及び男女協働委員会を開催

令和3年1月23日に海事職専門委員会、3年3月13日に男女協働委員会を開催しました。

新型コロナウイルス感染対策のため、各地区本部と中央書記局を会場として、オンラインによる委員会を開催しました。各職場の問題点や今後の課題等について議論しました。専門委員会において議論した内容もふまえ、処遇改善に向けた取り組みを実施して参ります。

「連合愛のカンパ」取り組み結果について

「連合・愛のカンパ」につきまして、全国の組合員の皆さまにご賛同いただき、143,718円集まりました。

皆さまのご協力に感謝申し上げます。